

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602-1番地 (電話) 0997-23-3992
自己評価作成日	平成27年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆったりとした環境の中で入居者の皆様が望んでおられる生活を支援しながら、それぞれの能力に応じて出来る事を探して頂き、喜びを感じて頂ける様、無理のないようなサポートを心掛けています。又、行事参加、ドライブ、外食等開放的な生活を支援する事で季節感や社会の一員としての喜びを感じて頂ける様な支援を心掛けています。踊りの会(さくら会)、近くの幼稚園、老人会等地域の方々には訪問して頂き、交流を図りながら楽しく過ごして頂いています。最近ではレクリエーションに長けた職員の異動により、バリエーションに富んだ余暇活動になり、体操やゲーム、会話など笑いのない日はないくらい明るく和やかな雰囲気の中、個々に合った生活の場作りに努力しています。又、ゆっくりのんびりと出来る環境作りにも努め、ひとりひとりの意向を重視しています。また、訪問看護ステーションとの医療連携体制をとり、週に一度訪問していただいて入居者の方々の健康チェックに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は公民館や郵便局・保育園などが近くにあり、散歩の際には挨拶や会話を交わし、野菜の差し入れ等もある。
- ・地域行事に積極的に参加し、地区の老人会の訪問やボランティアの受け入れなどを行い、認知症についての相談にも応じている。
- ・法人の行事に地域住民が参加するなど日常的に交流し、地域との関係性の継続や信頼が築かれており、利用者の外出の際にも協力をもらっている。
- ・訪問看護ステーションとの医療連携体制や主治医との連携による緊急時の対応なども整っている。口腔ケアにも力を入れている。
- ・家族とのコミュニケーションを図り、年2回、家族会や食事会を開催している。
- ・職員間の関係性もよく、職員のスキルアップやケアに対する向上心も高く、質の良いケアを目指しており利用者や家族に喜ばれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業者独自の理念を作りホーム内の目に付く所に掲示しています。理念を共有し、理念に基づいた支援が提供出来る様取り組んでいます。	職員で話し合っって作成した理念を、事業所内に掲げ、会議等の機会に振り返り、理念に沿ったケアの実践を推進している。理念について職員から意見が出た際に協議し見直しも行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運動会などの地域行事等に参加したり、近くの幼稚園や地区の老人会との交流も定期的に行ないました。家で採れた野菜等も持って来て下さいました。	地域の運動会や敬老会等に参加したり、法人のイベントには地域住民の参加がある。幼稚園児との交流や老人会・ボランティアの受け入れなども行っている。散歩の際は挨拶や会話を交したり、野菜等の差し入れを貰うなど、地域住民との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	介護ボランティアの受け入れを実施しました。入居者の皆様と交流して頂き、認知症についてもお話しています。同地区の老人会も定期的に訪問して下さいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施し、入居者状況の変化、生活の状況、活動報告等を行い、地域の方や市職員から成る委員からも活発に質問や意見が出され、サービスの質向上につなげています。</p>	<p>地域住民や行政からの参加で、定期的に開催されている。事業所の状況や外部評価の報告・災害対策について話し合い、具体的な避難手段や入居者の無断外出についての対策等、様々な意見を取り入れてサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市職員に運営推進委員として参加して頂き、困難事例の方の入居後の様子についての報告等も含め連携に努めました。ホームで発生した事故で受診した時は土日でもFAXするようにしています。</p>	<p>市の担当者には事業所の報告や困難事例等を報告し、必要に応じてアドバイスを貰い、常に情報交換を行っている。地域包括支援センターにも出向き、相談をしている。運営推進会議に参加を貰い協力関係もできている。市主催の研修会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束防止委員会で、各部署より提供される事例をホームに持ち帰り、全員で検討・議論しています。</p>	<p>法人で身体拘束防止委員会がマニュアルを基に定期的に開催し参加している。ホームでも事例検討や勉強会を実施し、共通認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認している。昼間の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全に生活できるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の事故・身体拘束防止委員会にて情報交換を行い、ホーム内でもミーティング等の機会を通じて、問題意識の共有に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会及びそれに関する資料により制度について、認識はしています。現在対象者は居られません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に時間をかけ丁寧に説明し、内容を理解し納得して頂くようにしています。また、疑問があったらいつでも尋ねてくださる様お伝えしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から話しやすい雰囲気作りを心掛けており、スタッフに話せない事はご家族に話せる様、面会時は配慮しています。また、日頃から面会時や家族会等の交流会で気軽に相談して頂ける様話しています。	利用者からは日々の関わりの中で気軽に話し合える雰囲気作りに留意し、思いを聞いている。家族からは面会や運営推進会議参加時・家族交流会等で希望や意見を聞いている。次回の家族会では口腔体操を一緒に行う計画である。遠方在住の家族来訪時には、気軽に宿泊できるように配慮し、思いを聞き運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングやサービス向上委員会、他各種委員会等で、また日常的にも意見や提案が出来る様配慮しています。気がついた事は、連絡帳にて全員が把握出来る様にしています。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、きずき等は連絡帳に記入し取り組んでいる。申し送りや会議時に職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう取り組んでいる。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。職員から理念の見直しを考える意見が出される等、職員の意見が反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>2ヶ月に1回自己評価を実施させ、改善した点、反省点等自己を見つめ直す機会を作り、上司に提出しています。その上で4ヶ月に1回上司評価を行い正社員昇格や賞与等に反映され、やりがいに繋がっていると思われれます。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等は全員が参加できるよう配慮し、勉強会も母体施設共同で定期的実施しています。又、新人や他部署からの異動時には同じ勤務帯で勤務指導しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内で行なわれる勉強会や労士協等が行なう研修会等を通して同業者との交流を図ったり、情報交換などしてサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の話に耳を傾け、不安に思っていることや、要望等を理解出来る様にしています。 又、ご本人様からの聞き取りが難しい場合はご家族を通して聞き取りをしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学时、申し込み時、入居時とご家族と十分に話し、要望等に耳を傾けて、共に解決に向けて努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応に際しては、本人・ご家族はもちろん、居宅支援事業所との連携も密にし、必要な支援のあり方を十分に見極められるように、他のサービス利用も視野に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の話を十分に傾聴し、本人の気持ちを理解し受け止めるとともに、入居者のペースで出来る事はやって頂き、同じ目線で対応する事で支えあう関係を築ける様心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話、面会時等に情報の共有ヲ図り、コミュニケーションを充実する事で、信頼関係を作り協力しながら支えあう関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や買い物、地域の行事等に参加したり、ドライブや外食に出掛けるなどして、馴染みの人・場所との関係が維持出来る様に支援しています。ご自宅のミカン狩りや馴染みの美容室でのカット支援、ご家族の宿泊も支援できました。	友人に会いに行ったり、馴染みの美容室へ行く等、友人や知人の訪問を奨励している。家族の協力を得て、ミカン狩りや外泊・墓参などの支援をしている。今までの関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時々、口論になることもありますが、お互いの意見を尊重しながら、お互いを思いやれる様な雰囲気作りや孤立をしないような環境作りに努めています。利用者同士いたわり合う言葉のやり取りもよく聞かれます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡による契約終了がありました。死亡時には、スタッフで弔問に出掛けています。別施設に移られたことで契約終了となった方に色紙を贈ったりもしました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、家族の話を十分傾聴し、一人ひとりの希望や思いを理解し、困難な場合でも会議など通して本人本位での検討をスタッフ全員で考えています。	日常生活の中で様子を観察するなど、その人らしさの把握を行っている。家族から思いや意向を聞いたり、職員は気づきを詳細に記録し、申し送りや会議などで話し合っている。思いや意向の把握が困難な利用者には、リラックス時に声かけしたり、家族と話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や入居後もご本人やご家族からの聞き取り、居宅支援事業所等関係機関からの情報収集により、把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察やケア記録、ミーティングでモニタリングを実施して総合的に把握出来る様になっています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、必要な関係者の意見やアドバイスを聞き、ミーティングを通して、介護スタッフの意見を聞いて総合的に反映して作成しています。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見や職員の気づきを取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活や変化が把握出来る様に個別に記録をとり、職員間で共有できるようにしています。実践、介護計画の見直しにも反映しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>希望に応じたドライブや、外出、ご家族宿泊、受診、墓参り等状況に応じて柔軟に対応し、多機能的に対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議委員、民生委員、教育関係者、行政、消防署、商店街などの協力を頂きながら支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前より協力医療機関をかかりつけ医とされています。本人及びご家族の希望を大切にしています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。主治医や協力医療機関との緊急時24時間医療連携体制が整っている。訪問看護も週1回取り入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師や訪問看護師に相談、指示を頂きながら健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は、スタッフが交代で面会に伺い、入院生活に不安をもたれないよう配慮しています。早期退院については病院関係者、訪問看護師との連携を密にして情報交換を行い対応しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から本人、ご家族、主治医、他関係機関それぞれのお話を伺い、全員で方針を共有し、対応しています。看取り指針マニュアルを作成し周知に努めています。</p>	<p>入所契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴いその都度、本人や家族の意向を確認し方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの経験もあり、今後も看取りの意向があれば応じていく方針である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人と協力して救急救命士の方による応急処置初期対応の勉強会を年2回実施しています。又、マニュアルを備え周知を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、訓練を実施し、非常時の避難に対応出来る様にしてあります。又、災害対策委員会を新設し、法人内で大地震の際のマニュアル作成を実施している最中です。非常時に備えて保存可能な食品を準備したり、非常時の持ち出し備品についても話し合っています。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、その他の防災設備もある。地域住民との協力体制もできている。法人で災害対策委員会を新設し、地域の実状に応じた事業所独自の防災マニュアル作成に取り組んでいる。備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの生活歴を尊重し、言葉掛けや対応に配慮しながら、誇りやプライバシーを損なう事が無いように心掛けています。	これまでの生活歴や習慣をうけて、日々の関わりの中で利用者の人格を尊重する言葉かけや対応をしている。自室での面談を行い、思いを傾聴するようにしている。サービス向上委員会を毎月開催し、トイレ誘導や入浴時には配慮したケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が決めるのではなく、本人の意向を伺い、自己決定出来る様に配慮しています。自己決定が困難な場合は、ご家族の意見もお聞きしながら対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の意向を最優先にし、一人ひとりに合ったペースを健康状態も考慮しながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は自分で選べる方には選んで頂き、支援が必要な方には助言したり一緒に選んだりしています。美容師に定期的にホームに来て頂いたり、馴染みの美容室でカットしてもらうなど、本人の意向を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの能力に応じて野菜の下ごしらえや、食事の準備や片付けも出来るように支援しています。食事の時間には職員と一緒にゆっくり談話出来る時間もとっています。	栄養士の助言を得ながら栄養面に注意し、利用者の嗜好に配慮した献立を作っている。利用者の力量に応じて準備や後片づけを職員と一緒にしている。誕生日には好きな食べ物を提供したり、行事食や弁当・外食等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量等チェックして把握しています。バランスについては献立表を参考にし、野菜を多くして偏りのない様に献立に工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、自分で出来る方には声掛けし、見守りにて口腔ケアをして頂き、出来ない方は職員が介助して口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄が出来る様にしています。	排泄パターンを把握し声かけや誘導を行い、日中は全員がトイレで排泄できるよう支援をしている。乳製品や繊維質の多い食物摂取などで食生活を工夫し、自然排便を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	影響については、研修会等で理解し、運動、水分、食事等での改善を工夫しています。野菜を多く使い、便秘気味の方には乳製品やセンナ茶を勧めたりして調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を確認し、入浴の意向を伺いながら支援しています。気分が向かない方には、日にちや時間をずらしたり、声掛けする職員を替える等工夫しています。ご自分の生活リズムに合わせて毎日入浴される方もおられます。	入浴は定期的に行っているが、毎日入浴を希望する利用者もあり、個々の状況や体調・希望に添った入浴ができるように対応している。好みの湯の温度調節も行い、入浴剤も使用するなど、入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を大切に、意向を伺いながら自由に自室で休養して頂いたり、ホールのソファで寛いで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作り、スタッフがいつでも見れるようにしています。処方箋に変更があった場合は連絡帳にて周知を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時の調査で趣味、生活歴、職歴等を把握し日頃のサポートに活かしています。入所後の習慣を見ながら好きな事を理解し、楽しく生活出来る様工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	健康状態を観ながら、外出やドライブに出掛けられる様支援しています。ドライブは行きたいところを聞いたり、お弁当持参で出掛けたりしています。自宅のミカン狩りに行きたいという方にミカン狩りの支援をしたりしました。	個人の状況や希望に応じて日光浴や散歩・買い物等や自宅周辺へも出かけている。計画を立てて花見やロケット打ち上げを見物に行っている。車椅子対応の車両もあり、ドライブなども気軽に出かけている。家族の協力でお食や外泊・墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人やご家族の意向により現金を持っている方もいますが、現在は使う機会がありません。今後買い物等できる様に計画しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は、相手の都合の良い時間を伺った上で希望ある時は、いつでも出来る様に支援しています。手紙を書かれる方もおり、その方に投函出来る様に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでも一人ひとりがゆっくり寛げる様にソファを設置したり、季節を感じられるよう季節の花を飾ったり、庭に咲いている花を飾ったりしています。	玄関には季節の花が飾られ、共用空間は天窓からの光がやわらかく差し込み、木のぬくもりがある。温度や湿度にも配慮されている。季節に応じた飾り付け等がされており、テレビを観たり、好きな場所のソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>あちこちに寛げる空間があり自由に寛いで頂いております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していたベッドやお布団、家具等持って来て頂き、居心地良く過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>可能な限り自宅の自室に近付けるよう配慮し、ベッドや家具・テレビ・仏壇・時計・家族の写真等を飾り、使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール、トイレ、浴室等手摺りを取り付け、出来るだけ自立支援のサポートが出来る様整備しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない